

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-78678  
(P2000-78678A)

(43) 公開日 平成12年3月14日 (2000.3.14)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
H 0 4 R 1/02	1 0 7	H 0 4 R 1/02	5 D 0 1 7

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10-297488

(22) 出願日 平成10年9月2日 (1998.9.2)

(71) 出願人 598143974

矢戸 輝義

東京都練馬区春日町5-18-9

(72) 発明者 矢戸 輝義

東京都練馬区春日町5-18-9

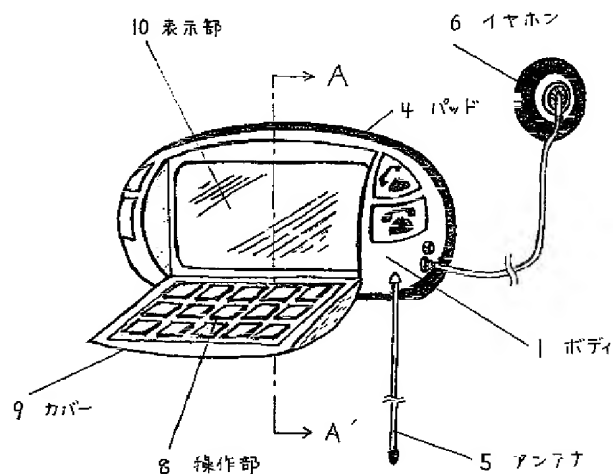
Fターム(参考) 5D017 BC03 BC14 BC18

(54) 【発明の名称】 音声漏洩防止型通信装置

(57) 【要約】

【課題】 発信者の肉声を外部に漏らさず、また外部の雑音が生音に混ざることのないよう、口を覆う形にした通信装置を提供する。

【解決手段】 半球型のボディー(1)の内部に吸音材(2)とマイク(3)を装着し、周囲にパッド(4)を設け、アンテナ(5)、イヤホン(6)、通信機本体(7)及び操作部(8)をボディーにセットしたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 半球型のボディー（1）の内部に吸音材（2）とマイク（3）を装着し、周囲にパッド（4）を設け、アンテナ（5）、イヤホン（6）、通信機本体（7）及び操作部（8）をボディーにセットする。以上のごとく構成された、口を覆う形状の音声漏洩防止型通信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、発信者の肉声を外部に漏らさず、また外部の雑音が音声に混ざることのないよう、口を覆う形にした通信装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、小さな声で話すか、手で口付近を覆う方法をとっていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには次のような欠点があった。

（イ）小さな声では発信者に聞こえにくく、大きな声では発信者の周囲の人々に迷惑であった。

（ロ）周囲の音が大きいと、それが雑音として受信者に伝わっていた。

本発明は、これらの欠点を解消するためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】半球型のボディー（1）の内部に、吸音材（2）とマイク（3）を装着し、周囲（口のまわりの肌と接触する部分）にパッド（4）を設ける。そして、アンテナ（5）、イヤホン（6）、通信機本体（7）及び操作部（8）をボディーにセットする。本発明は、以上のような構成よりなる通信装置である。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。

（イ）半球型のボディー（1）の内部壁面全体に吸音材（2）を貼り、口の正面にあたる場所にマイク（3）を装着する。

（ロ）ボディーの周辺部で、口のまわりの肌と接触する部分にパッド（4）を装着する。

（ハ）ボディー本体に巻取式アンテナ（5）とイヤホン（6）を装着する。

（ニ）通信機本体（7）をボディー（外面と吸音材の間の部分）に装着する。

（ホ）通信操作部（8）をボディーのカバー（9）に装着する。

本発明は以上のような構造で、これを使用するときは、イヤホン（6）を耳につけ、ボディー（1）を持ち、カバー（9）を開いて、操作部（8）のボタンを押す。通信機能が稼働したらカバーを閉じ、ボディーを口にあてて話す。ボディーのパッドと口のまわりを密着させることにより、声が外部に漏れず、周囲の人々に迷惑をかけずにすむ。また外部の音も入らないので、騒音がひどい所でも通信できる。なお、通信機能とは、無線マイクロフォンとしての機能や、携帯電話としての機能があり、さらに電話機能内蔵タイプで携帯電話そのものとして使用する方法と、従来の携帯電話に接続して使用する方法がある。

【0006】

【発明の効果】無線マイクロフォンとして使用する場合、ゴルフ場での中継や、深夜の住宅街からのリポートなど、静かにしなくてはならない場所での放送が、周りの人に迷惑をかけずにできる。携帯電話として使用する場合、電車やバスなど車中でも通話でき、工事現場等騒音の激しい場所からでも電話できる。

【図面の簡単な説明】

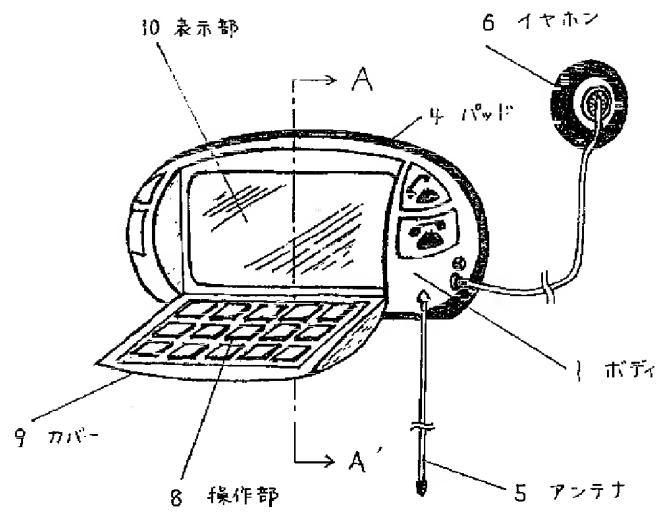
【図1】 本発明の斜視図である。

【図2】 本発明の要部断面図である。

【符号の説明】

1	ボディー	2	吸音材	3	マイク
4	パッド	5	アンテナ	6	イヤホン
7	通信機本体	8	操作部	9	カバー
10	表示部				

【図1】



【図2】

